## 平成 27 年度 事業シート

#### 第5次廿日市市総合計画 (後期基本計画)

基本目標1標1健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち政策目標4子どもが健やかに育つまちに

重点的取組2確かな学力を身につけ、社会をたくましく生きる子どもを育てる

担当課名		教育	部 教育指導課
予	会計	01	一般会計
算	款	09	教育費
科	項	03	中学校費
目	B	01	学校管理費

 事業名
 中学校管理運営事業
 事業開始年度 収拠法令 条例 個別計画 等
 平成 26 年度

 校務支援システムの運用(中学校)
 個別計画 等
 世日市市教育振興計画

#### 1 事業の目的、意図

		【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)				
	目的		市内中学校において、ICTを活用し、情報の一元化や成績管理などの効率化を進め、校務支援システムを運用し業務改善を図る。				

#### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

ĺ	実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
	П	校務支援システムを運用し業務改善 を図るための支援		校務支援システムを活用し業務改善を 進め子どもと向き合う時間を生み出す

### 3 平成 27 年度 予算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

#### 《校務支援システム》

- ・グループウェア機能による校務用個人パソコン上での掲示板、スケジュール管理、アンケート実施から集計 まで行える。校務用個人パソコンで内部メール機能を利用できるようになり、情報交換がスムーズになる。
- ・学籍・名簿管理を一元管理し、一度データ入力を行えば、小中9年間データ移行をすることで同じ作業を繰り返すことがなくなる。
- ・学籍・名簿管理と成績機能をリンクさせることで、成績処理から通知表・調査書・指導要録・抄本の作成までを一元化でき、必要最低限の作業で多様な事務作業を安全かつ確実に実施できる。
- ○校務支援システムの安定した運用を行うことで、学校における教職員の校務量を削減し負担を軽減する。

動内容

# [歳出]

мх III 📗								
区分	内容	H27						
使用料及び 賃借料	統合サーバ賃借料	11, 331						
合計								

	項 目	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
	直接事業費A		4, 547, 884	11, 330, 748	
	国庫支出金				
$\Box$	<sub> 活</sub>				
ス					
1	で の 他(使用料など)				
情	市(市税など)		4, 547, 884	11, 330, 748	
報	人 件 費 (按 分) B	人	0.31 人	0.19 人	
一、円	八斤貝(放力)口		2, 638, 410	1, 643, 310	
	総 事 業 費(A+B)		7, 186, 294	12, 974, 058	
	単①人口(4月1日現在)	117,680 人	117,680 人	117, 182 人	
			61	111	
	換位     市式1人目だり       市立小学校数     1 校当たり	校	17 校	17 校	
	**ス   ②		422, 723	763, 180	
			1105	1107	

지 ㅁ		活 動 及 び 成 果 指 標	単位	H25 実績値	H26 目標値	H27 目標値	備考	
到目達	活	校務支援システム機能停止回数	口			0		
度標	動							
又小	,,,,	校務支援システムによって負担が減ったと感じる教職員	%			60		
	果					-		